

平成29年度 学校関係者評価報告書

平成29年6月30日
学校法人国際ことば学院
国際ことば学院外国語専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人国際ことば学院・国際ことば学院外国語専門学校の学校関係者委員会は、平成28年度自己点検・自己評価報告書に基づき、学校関係者評価を行いました。

学校関係者評価委員(順不同・敬称略)

栗田 裕之	元静岡市議会議員
浜本 百合子	医療法人社団浜本整形外科医院 理事・事務長
清水 英治	株式会社ブリックス 代表取締役
伊藤 精俊	有限会社アミューズデザインイトウ 代表取締役
アドヒカリ ラビンドラ	卒業生 ファミリーマート マネージャー
中村 直保	八幡3丁目自治会会長
伊藤 照之	前常葉大学非常勤講師
伊藤 純子	在校生父兄
千田 正代	在校生父兄
末續 晨一郎	学校法人国際ことば学院 理事長
袴田 靖子	国際ことば学院外国語専門学校 校長
山内 美里	国際ことば学院外国語専門学校 教務課長
櫻井 満希	国際ことば学院外国語専門学校 教務部
渡邊 学	国際ことば学院外国語専門学校 事務部長

平成29年度第一回学校関係者評価委員会

日時:平成28年6月29日(木) 15:30~17:15

場所:国際ことば学院外国語専門学校 203教室

出席:浜本百合子、伊藤 精俊、、中村直保、伊藤照之、伊藤 純子、千田 正代
末續晨一郎、袴田靖子、中村八重子、渡邊学、山内美里 (敬称略)

議題等

委員紹介 学校法人国際ことば学院のグループ校と外国語専門学校の概要
職業実践専門課程と学校関係評価委員会について
平成28年度の自己点検・自己評価について会議資料に基づいて報告
学生の現状(在校生の状況・卒業生の就職状況)
平成28年度の重点目標達成に関する自己評価
『平成29年度自己評価報告書』に基づいて 平成28年度の活動を振りかえり、それをふまえて各基準10項目の今後の課題について

平成28年度自己点検・自己評価における学校関係者評価

	課題に対する学校の取組み状況	評価
1. 教育理 念・目的・ 育人材 像	<p>□教育理念及び育人材像について関連業界のニーズに応じる形で作成した。今後は、学生・保護者・関連業界へ浸透させるべく情報発信のできるだけ多くの対外販促ツールへの記載を徹底していく。</p> <p>□現状教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の委員の意見を取り入れて最適化に努めているが、引き続き企業と連携している授業を担当いただいている企業の方の意見等も積極的に取り入れていく。</p> <p>□関連業界出身の外国語講師自体の母数が少なく採用には苦労しているが、今後も引き続き採用の間口を広げていきたい。</p> <p>□学内外とも積極的に関連業界の協力を得ながら実習を行っておりできるだけ多くの授業を行いたい企業がとの日時調整が難しい場合が多く長期計画の中で設定していく必要がある。</p> <p>□多言語でコミュニケーションできる環境づくりのために中国人、韓国人、英語圏の学生の積極募集が必要であり、教員についてもマルチリンガル教員の積極採用が必要である。</p> <p>□次年度以降の課題として学校の将来構想について対外啓蒙ツールの開発に取り組みたい。</p>	<p>□対外的な理解、浸透に努めて欲しい。</p>
2. 学校運営	<p>運営方針 □昨年度、運営方針の改定を行ったので教職員への周知に努めたい。</p> <p>事業計画 □現状大きな課題はない。</p> <p>運営組織 □現状に満足することなく常に学生満足度の向上を目指す運営形態を目指し最適化を図っていく予定である。</p> <p>人事・給与制度 □採用後の昇任・昇給の規定や人事制度の導入が遅れているので中期計画の中で整備していく。</p> <p>意思決定システム □規則・規定については未整備であるので中期計画の中で整備していく。</p>	<p>□運営方針の教職員への浸透につとめてほしい。</p>
3. 教育活動	<p>目標の設定 □職業教育に関する方針、実施方針をH29年度中に文書化する。</p> <p>□H28年度は学生の資質向上に伴いクラスや担当の枠を超えて、担当教科ごとに資格取得に向けての支援指導を行う体制をさらに強化する。</p> <p>□まずは就職指導部と連携して卒業生、就職先等の意見聴取を行い、キャリア教育の整備、充実を図る。</p> <p>□授業評価を実施する体制を整え、評価内容を改善した。H29年度は講師ごとの評価を行い、迅速なフィードバックを行いたい。</p> <p>□成績評価や修了認定について、客観性・統一性を高めるため、教員向けのガイドラインを作成する。</p> <p>□教員の資質向上を図るための学内研修制度の整備に着手する。また、学外研修への参加を奨励するとともに、その成果の学内還元を積極的に行っていく。</p>	<p>□職業教育に関する方針、実施方針の文書化を本年度の重点目標にしてほしい。</p> <p>□昨年度実施した授業評価について、さらに精度を上げて実施することで効果的な授業運営に役立ててほしい。</p>

4. 学修成果	<p>就職率 <input type="checkbox"/>留学生については、ビザ取得までが就職活動であり、今年度以上に企業開拓からビザ取得のフォローまでよりきめ細かく行っていく。</p> <p>資格・免許の取得率 <input type="checkbox"/>現在以上の合格率確保のために次年度も引き続ききめ細かな対策授業を行っていく。</p> <p>卒業生の社会的評価 <input type="checkbox"/>就職後3年の卒業生および企業訪問などを通して卒業後の実態を把握するよう努めている。</p>	<input type="checkbox"/> 卒業生の社会的評価など卒業生の実態把握は大切なので実態を把握する仕組みが必要。
5. 学生支援	<p>就職等進路 <input type="checkbox"/>現状大きな問題は生じていない。</p> <p>中途退学への対応 <input type="checkbox"/>学生へのメンタルケアの重要性から現在2名の有資格者がいるが今後も資格取得を教職員に薦めていく。</p> <p>学生相談 <input type="checkbox"/>留学生の就職、進学については在留資格(ビザ)との関連性が深く、今後も教職員には法令遵守など独自の対応が必要であり担任会議などできめ細かな情報共有に努めていく。昨年度より学生相談カードの明確な管理を行っている。</p> <p>学生生活 <input type="checkbox"/>学生への緊急時の高額な経済的支援体制は中長期の中で解決させる。</p> <p>保護者との連携 <input type="checkbox"/>より緊密な連携体制を中長期計画の中で整備していく。</p> <p>卒業生・社会人 <input type="checkbox"/>昨年度就職者を中心とした同窓会を実施した。</p>	<input type="checkbox"/> 学生が相談しやすい学校環境は必要であり、相談カードの有効活用と学内共有に努めて欲しい。 <input type="checkbox"/> 同窓会を立ち上げたようなので、定期的な開催で卒業生のネットワーク強化に努めて欲しい。
6. 教育環境	<p>施設・設備等 <input type="checkbox"/>バリアフリー対策が未整備であり、中長期計画の中で整備していく。</p> <p>学外実習、インターンシップ等 <input type="checkbox"/>実習、研修、インターンシップ内容については、学生の意見なども取り入れ満足度が高く、教育効果の高いものに常にしていきたい。</p> <p>実施要綱等への記載など詳細の定めが文書化されていないので今年度中に整備する。</p> <p>防災・安全管理 <input type="checkbox"/>防災訓練については、あらゆる防災に対応できるよう毎年見直</p>	<input type="checkbox"/> より効果的なインターンシップを行うためにも、実施要綱などの文書化を行うことは望ましい。
7. 学生の募集と受入れ	<p>学生募集活動 <input type="checkbox"/>学校規模の広報予算から、制作物については限定せざるを得ない。中長期計画の中で見直しを図っていく。</p> <p>入学選考 <input type="checkbox"/>より詳細な入学選考基準、方法は、規程等の文書化を今年度中に行う。</p> <p>学納金 <input type="checkbox"/>現状大きな課題はない。</p>	<input type="checkbox"/> 入学希望者の増加に伴い、入学選考基準や規定の整備をすることは望ましい。
8. 財 務	<p>財務基盤 <input type="checkbox"/>平成29年には、教室稼動と定員のバランスが最適化され収支バランスの数値指標が完成できる予定である。中長期計画の中で課題抽出まで至っておらず法人本部の組織改編でそれらの分析を行う予定である</p> <p>予算・収支計画 <input type="checkbox"/>規定の整備が中期計画の中で必要である。</p> <p>監査 <input type="checkbox"/>外部監査については、中長期計画の中で整理していく。</p> <p>財務情報の公開 <input type="checkbox"/>財務公開規定は整備されておらず、中期計画の中で整備す</p>	<input type="checkbox"/> 健全な財政基盤の維持に努めて欲しい。

<p>9. 法令等の 遵守</p>	<p>関係法令、設置基準等の遵守 <input type="checkbox"/>セクシャルハラスメント、コンプライアンスに関する相談窓口等の整備は未整備であるので中期計画の中で整備する。 個人情報保護 <input type="checkbox"/>個人情報保護規程や学生、教職員への啓発活動は整備済みである。 H28年は学内サーバからの個人情報漏えい対策としてファイヤーウォールからより強固なセキュリティ対策を講じることができるUTM(統合脅威管理)システムへ移行させた。 H28年に学生原簿や出席簿などは、鍵のかかる書庫への保管に移動させた。 学校評価 <input type="checkbox"/>現状運用に大きな問題はない。 教育情報の公開 <input type="checkbox"/>現状大きな問題はない。</p>	<p><input type="checkbox"/>個人情報の取り扱いについては、今後学校としてプライバシーマークを取得などを行い、個人情報の取扱いには慎重に行うべきである。</p>
<p>10. 社会貢 献・地域 貢献</p>	<p>社会貢献・地域貢献 <input type="checkbox"/>中国語、英語学習者向けの交流プログラムの充実を中期計画の中で整備していく。 ボランティア活動 <input type="checkbox"/>積極的に学校でボランティア活動を実施している。</p>	<p><input type="checkbox"/>ボランティア活動などをは地域貢献に必要なことであり、積極的に行ってほしい。</p>